

H29公共事業事前評価調書

評価調書作成者 [道路整備課長 上野 晋也]

事業プロフィール

【事業概要】

事業名	国道445号(五家荘2工区)防災・安全交付金事業
事業箇所	八代市 泉町 葉木
事業担当課(室)	土木部 道路都市局 道路整備課 (国道班 内線6113)
事業期間	平成30年度～平成33年度(4年間)
総事業費	480百万円(うち県費192百万円)
事業内容	延長1,500m 道路改築
事業目的	<p>国道445号は、熊本市を起点とし、山都町、美里町、八代市、五木村を經由し人吉市を終点とする道路である。また、当該区間周辺は林業が盛んであり、近くには、観光名所の「五家荘」があり、多くの観光客が訪れており、観光振興に寄与する道路である。</p> <p>当該区間は、幅員狭小、線形不良により、小型車のすれ違いも困難な道路となっている。</p> <p>このため、拡幅整備により安全性の向上を図り、安全で安心な生活道路の確保を目的として、道路整備を行うものである。</p>

【現況写真】



(現在の状況)

本箇所は、幅員狭小のため車両の離合が困難な状況である。

また、線形不良により見通しが悪い
ため、車両の安全で円滑な通行に支障をきたしている。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	本区間の整備により、車両通行の安全と円滑化が図られる。
事業比較 〔 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) 〕	事業を実施しない場合、幅員狭小で線形不良であるため、車両の円滑な離合が困難である。
パートナーシップ ユニバーサルデザイン への配慮事項・内容	「熊本県の道路に関するユニバーサルデザイン指針」に基づき、地域の意見を反映させ、全ての人が利用しやすい道路とする。
関係法令等の手続き の把握・完了状況	五木五家荘県立自然公園区域内であるため、協議が必要。

【 周辺状況 】

関連事業	無し
市町村、地元の状況	国道445号整備促進期成会から早期整備の要望あり。 本路線は、林業振興や五家荘への観光道路として期待されており、道路幅員が狭く、離合箇所も無い為、早期の道路整備の要望が高い。
説明会の開催状況と関係者の意向	調査・測量・設計にあたり、地元説明を行った。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。 [県立自然公園内であるため、希少な野生生物の生育に影響を与えないよう、地形及び植生の改変を最小化するように配慮する。]	有 [配慮する]
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。 [県立自然公園内であるため、自然景観資源に影響を与えないよう、地形及び植生の改変を最小化するように配慮する。]	有 [配慮する]
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。 [県立自然公園内であるため、地形及び植生の改変を最小化するように配慮する。]	有 [配慮する]

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。 [工事期間中の濁水対策などの施工方法に配慮する。]	有 [配慮する]
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

事業評価

: 共通指標

【事業評価表】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	4
	② 市町村合併支援	5	5
	小計	10	9
必要性	③ 特定地域振興	5	4
	④ 公共施設へのアクセス向上	20	20
	⑤ 生活利便施設へのアクセス向上	15	15
	⑥ 救急施設へのアクセス向上	5	5
	⑦ 公共交通等の充実	5	5
	小計	50	49
緊急性	⑧ 安全性の向上 (車両通行の安全性、災害時の代替路確保)	25	25
	⑨ 歩行の安全性の向上	5	0
	⑩ 連携する他事業	5	0
	小計	35	25
効率性	⑪ 費用便益比(B/C)	5	5
	小計	5	5
合計		100	88